

エネルギー方針

制定:2026年6月26日

株式会社ブラウブリッツ秋田

1. 基本的な考え方

ブラウブリッツ秋田は、エネルギーの利用に伴う温室効果ガス(GHG)の排出が気候変動の主要な要因の一つであると認識しています。また、秋田県は風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入が進む地域であり、脱炭素社会の実現に向けて大きな可能性を有していると考えています。クラブに関連するすべての施設において、エネルギー使用量の継続的な削減とエネルギー効率の向上を推進するとともに、再生可能エネルギーへの段階的な転換を進めます。これらの取り組みを通じて、クラブ活動に伴うエネルギー由来の環境負荷を低減し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素化を目指します。

本方針は、新規設備の導入・更新や再エネ調達の意思決定における基準として機能するとともに、クラブ全体のエネルギー管理の方向性を示すものです。

2. 長期ビジョン

すべての施設におけるエネルギー消費量の削減と再生可能エネルギー比率の向上を段階的に進め、クラブ活動に伴うエネルギー由来のGHG排出量を継続的に削減します。エネルギー効率の高い設備・運用を標準とし、再エネを主力とするエネルギー調達への転換を実現します。

3. 目標

- ・ 各施設のエネルギー使用量の月次モニタリングを2026年内に開始し、ベースラインを確立する(GHG算定と並行)
- ・ クラブが管理する施設(クラブハウス・クラブ事務所)のうち1か所以上において、再生可能エネルギー(非化石証書・太陽光等)の導入可能性の検討を2026年度内に完了する
- ・ 新規設備の導入・更新時には、省エネ・再エネ性能を意思決定基準の一つとして考慮する
- ・ ファン・サポーターへの再エネ・省エネ啓発を年1回以上実施する

※ 再生可能エネルギー比率および排出量の数値削減目標はGHG排出量算定の完了(2026年6月予定)後に確定し、本方針に追記します。

4. 取り組み内容

(1)省エネ・エネルギー効率化

- ・ クラブハウス・クラブ事務所における省エネ設備(LED照明・省エネ家電等)の活用を継続します
- ・ クラブハウスに設置しているEV充電スタンドの活用を継続します
- ・ 冷暖房の設定温度基準を設定・運用します
- ・ エネルギー使用量の定期的なモニタリングを実施します
- ・ 設備の更新・新規導入の際には、省エネ性能を評価基準に組み込みます

(2)再生可能エネルギーの導入・調達

- ・ 非化石証書等を活用した再生可能エネルギーの調達を推進します(クラブハウス・クラブ事務所・スタジアムを対象に検討)
- ・ クラブハウスに太陽光パネルと蓄電池を設置し、再生可能エネルギーを使った施設運営を行います
- ・ 再エネに関するファン・サポーターへの啓発活動を実施します

※ ソユースタジアム(秋田市八橋運動公園陸上競技場)は施設管理者が秋田市であるため、施設設備に関わる変更・改善は施設管理者との協議を前提とします。

本方針はサステナビリティ基本方針(2026年制定)に紐づく個別方針です。